

平成22年度実施 地域ICT利活用広域連携事業 成果報告書

実施団体名

特定非営利活動法人 佐賀県CSO推進機構

代表団体名

事業名称

クラウドサービスを活用した市民参加型UDプラットフォーム構築事業

1 事業実施概要

高齢化する住民や、シニア、外国人、ベビーカーユーザーなど、多様なニーズを持つ旅行者のニーズを、UDプラットフォーム（WEBサイト）を構築し、iPadや携帯電話等からソーシャルメディアなどで把握し、収集されたデータを分析してユニバーサルデザインのまちづくりや、公共施設や旅館などのサービス提供に活かす。さらに旅行者への情報を広域で検索できるように、クラウドサービスで効率的、かつアクセシブルに提供し、きめこまかい情報提供につなげる。

また、さまざまな年齢や状況の市民を「UDマイスター」としてeラーニングで育成し、市民と観光客が、ネット上で協働してまちの活性化に貢献する。

2 目標の進捗状況

(1) 目標の進捗率

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
UDプラットフォーム アンケートシステム構築	システムの完成	完成	○	納品書・成果報告書
UDプラットフォーム 情報発信サイト構築	システムの完成	完成	○	納品書・成果報告書
UDマイスター育成 eラーニングシステム構築	システムの完成	完成	○	納品書・成果報告書
	UDマイスターの認定者数	30名	○	終了書（認定証）・認定式・写真
UDプラットフォーム地域協議会の開催	8回	6回	○	協議会開催通知・出席者数・議事録
アンケートシステム講習会	実施	実施	○	案内文・参加申込書の受領・当日写真
人材育成のための実地試験の実施	終了テストを受けた人 2名以上	30名	○	終了書（認定証）・認定式・

3 事業による成果

(1) 事業による成果（アウトプット指標）

項 目	成果指数	備考（成果指数の説明等）	調査時期
UD プラットフォーム アンケートシステム構築	利用旅館 13 旅館	UD ルームを備えた旅館 全てにアンケートシステムの設置	H 2 3 年 2 月
UD プラットフォーム 情報発信サイト構築	バリアフリーセンタ ーの協働運営サイト 閲覧数	3 月 31 日公開の為 3 月 31 日時点での閲覧数は 0 で ある	H 2 3 年 3 月
UD マイスター育成 e-ラーニングシステム構築	3 4 名	(e ラーニング) UD マスター受講	H 2 3 年 3 月
UD プラットフォーム地域協 議会の開催	6 回 延 186 名	協議会開催通知・出席者・議事録	H 2 3 年 3 月
アンケートシステム講習会	3 6 名	iPad 講習会参加者名簿より	H 2 3 年 3 月
人材育成のための実地試験 の実施	3 4 名	(e ラーニング) UD マスター受講	H 2 3 年 3 月

(2) 事業による社会的効果等（アウトカム指標）

項 目	事業成果	調査内容	算出方法	調査時期
UD プラットフォ ーム アンケートシス テム構築	宿泊者への iPad の貸出数	宿泊先利用数	旅館組合・宿泊旅館より 直接ヒヤリング	H 2 3 年 2 月
	宿泊者の iPad での入力数	アクセスログ 書き込み数確認	サーバーのログ及び入力 内容確認	H 2 3 年 3 月
	フェリカの利用数	サーバーのログ	サーバーのログより解析	H 2 3 年 3 月
UD プラットフォ ーム 情報発信サイト 構築	旅行者等が評価アンケー トシステムの利用	情報発信サイ トの閲覧数	サーバーのログ	H 2 3 年 3 月
UD マイスター育 成 e-ラーニング システム構築ケ ート回答数	UD マイスターの受講者申 込者数	申込書数	申し込み書より	H 2 3 年 3 月
	UD マイスター終了者数	サーバーのロ グ	認定証発行により	H 2 3 年 3 月
UD プラットフ ォーム地域協議 会の開催				
アンケートシス テム講習会				

人材育成のための 実地試験 の実施				
-------------------------	--	--	--	--

4 システム設計書

別添2のとおり。

＜システム運用結果＞

1 システム運用で得られた成果

実際にUD旅館を訪れた観光客にて、i P a d等で操作をしていただき、まだまだ少数ではありますが、ニーズを把握することができています。そのニーズを分析・評価していき、関係者に情報提供することで、施設整備の基礎データとして活かしていきたいと考えます。また、想定していなかった多種多様な意見も収集でき、UD旅館、UD関連団体ともに価値ある情報となっていると考えます。その情報を今後活かしていくことで、さらなる、UDなものづくり、サービスづくりを可能としていきます。また、教育面においては、N P O法人にて本事業で開発したアンケート入力システムの簡単なQ A対応やメンテナンスが可能となるなど、I C T人材の育成を実現することができました。加えてUD旅館やUD関連団体の従業員やスタッフが、本事業のアンケート入力システムのi P a d等の操作やe ーラーニング：UDマイスターを体験することによって、UDに関する意識が、高くなり、以前よりも旅行者等に接する態様が変わってきました。このことにより、多種多様な旅行者のニーズを積極的に意識することができ、観光客に満足していただくよう、よりいっそうのサービスづくりが可能となります。

2 平成22年度事業実施において明らかとなった課題

本事業においては、主としてUD旅館や関連団体を対象としていましたが、地域全体としては、UDの意識がまだまだ不足しており、UDを意識したまちづくりとしては、やはり住民全体の意識づけが重要であると考えます。そういった意味では、まだまだ、地域にUDの意識を根付かせるためには、時間がかかるものと考えます。嬉野町地域住民に深くUDが浸透し、いっそうの観光客誘致を実現するためには、地域内のみではなく広域にわたって、浸透していく必要があると考えます。広域でUDへの取り組み・浸透のためには、この事業を継続していき、国、県、市町といっしょに取り組むことが必要であると考えます。

3 自律的・継続的運営の見込み

本事業の自律的継続を実現するための運営費については、地域のC S O団体において、UD旅館を訪れた観光客がi P a d等で操作し蓄積したアンケートデータを取りまとめ、解析した結果等を、対UD旅館もしくは、水回り等設備メーカーに、データ提供およびUD面でのコンサルティングをしていくことにより発生した収益を想定しています。また、観光協会との連動、サイトの広告収入の収益等も予定しております。

4 今後の展開方針

今後は、本事業にて構築したシステムを、佐賀県内の主要な温泉地・観光地へ紹介・展開することにより、UDに配慮したまちづくりを実現していきます。加えて本事業で作成したe ーラーニングシステムを活用して、UDマイスターが嬉野市、佐賀県内をはじめ九州各地でも育成していきます。UDマイスターが自分たちでN P Oを組織化し、オンラインで各地域のUDマイスターが培ったノウハウをもとに、地方の観光地のUDへの理解・浸透を実現していきます。

5 その他

・取扱新聞記事

嬉野温泉UDモニターツアー 改善点など多くの意見(2010年12月9日 佐賀新聞ひびのニュース)
大会の成果、各地で「継続」を UD全国大会閉幕(2010年12月22日 佐賀新聞ひびのニュース)

<人材育成状況説明書>

①申請主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

NPO法人職員 3名

UD地域協議会委員旅館関係者 20名

2 ICT人材の育成方法

- ・各旅館、NPO関係者にユニバーサルデザインおよびアクセシビリティの基本的な知識を習得されるため、インターネットを活用したeラーニングを活用し、UDマイスターを育成
- ・eラーニングの操作説明をシステム開発会社より実施し、今後レクチャできるICT人材を育成
- ・ユニバーサルデザイン関連の活用方法をユニバーサルデザインルーム完備の旅館担当者、NPO関係者および学識者による講習会を実施
- ・アンケート入力のため旅館をはじめ関係機関へ配布したiPadの操作方法や質疑応答についてレクチャできるICT人材を育成

3 1で育成等したICT人材の活用人数

- ・NPO法人向け3名 eラーニング操作方法の習得や質疑応答の対応習得
- ・UD地域協議会委員旅館関係者20名 iPadアンケートシステム操作方法の習得や質疑応答の対応習得

4 ICT人材の活用方法

本事業にて育成したICT人材においては、iPadを利用したアンケートシステムのテスト運用に参加、UD旅館へのiPad機器設置することにより、最初からシステムの概要を把握することができ、紹介作業をスムーズに行うことができた。

また、eラーニングにおけるシステムサポートを実施し、操作方法QA対応を行うことができた。さらにiPad機器の操作・利用支援・システムサポートを実現することができた。

5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容(予定)

本事業で育成された人材については、今後もシステムメンテナンスを行うことで、多種多様な質問への対応や実作業を行い、理解の幅を増やすことを目的とする。加えて新たな人材育成ができるようにナレッジデータベースを構築し、新たに育成される人材向けの情報を残していくことを目的とする。新たな人材としては本事業で育成したICT人材をサポートしていくことにより、新たなICT人材を育成していくこととする。

②事業運営主体におけるICT人材の育成・活用内容

1 ICT人材の育成人数

NPO法人職員 3名

学識者 5名

ユニバーサルルーム完備旅館担当者 20名

一般 5名

2 ICT人材の育成方法

前回のICT研修で指導者となった人材が、ユニバーサルデザイン関係対象者にiPadや、ユニバーサラーニングを用いて研修を行い、次のICT人材を育てる。

3 1で育成等したICT人材の活用人数

NPO法人職員 3名

学識者 5名

ユニバーサルルーム完備旅館担当者 20名

一般 5名

4 ICT人材の活用方法

ユニバーサルデザインに関するデータ収集、旅館を活用するかたのニーズの把握。ICT機器の操作・利用支援、システムサポート（関係事業者との調整）、システム運営、トラブル対応。

ラーニングによる、多くのユニバーサルマイスターを育て、ユニバーサルの意識付けに貢献した。

5 次年度以降のICT人材の育成・活用内容（予定）

前回のICT研修で指導者となった人材が、ユニバーサルデザイン関係対象者にiPadや、ユニバーサラーニングを用いて研修を行い、次のICT人材を育てる。

＜実施体制説明書＞

1 実施体制

下記に本事業体制を記す。

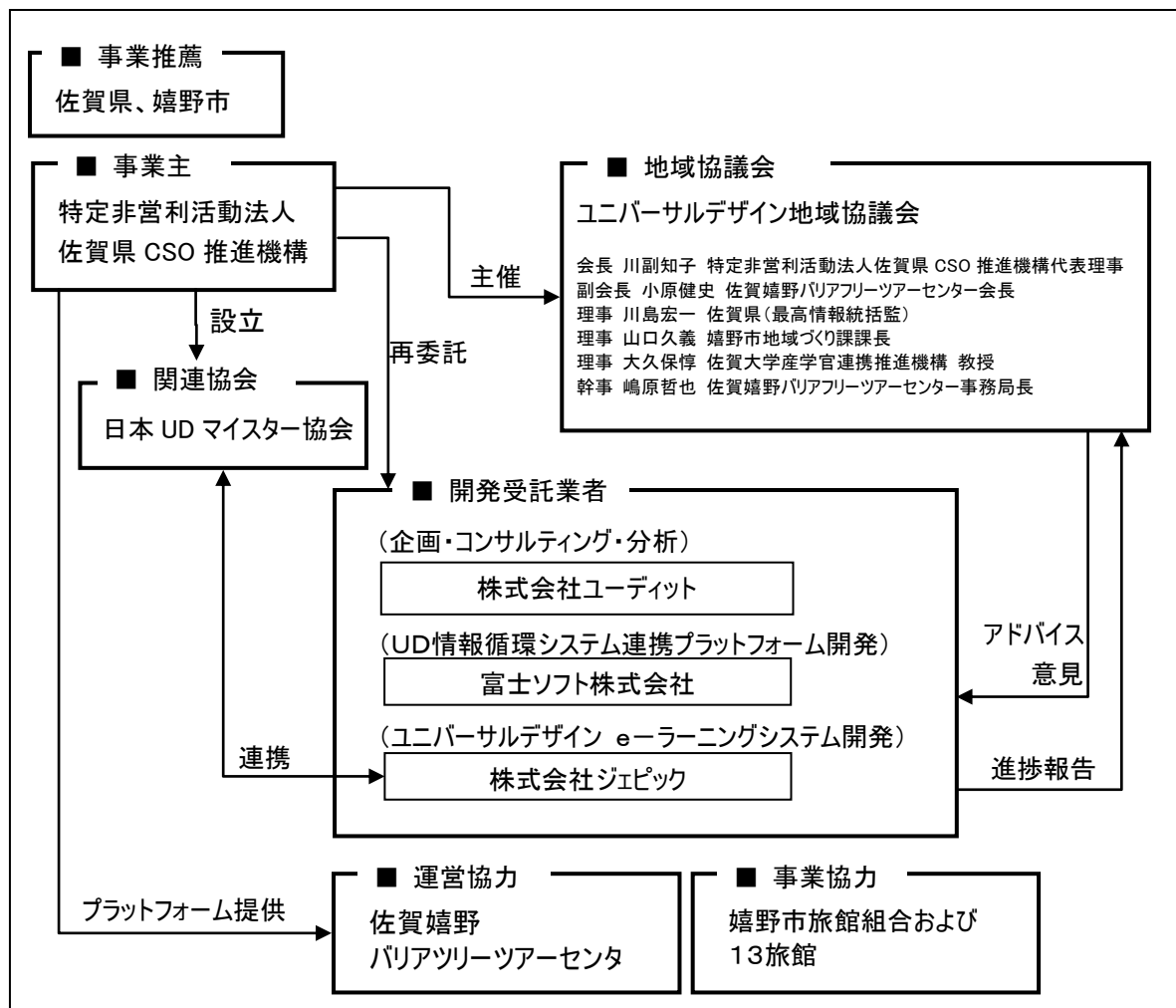


図 1. 体制

各主体の役割

No	名 称	役 割
1	特定非営利活動法人 佐賀県 CSO 推進機構	ICT 利活用の総合マネージメントを実施および情報システム構築マネージメント
2	UDプラットフォーム 地域協議会	大学教授や嬉野市旅館組合など有識者による ICT を活用した UD プラットフォーム構築に対する検討・行動計画の了承、システムの継続運用課題検討
3	嬉野市旅館組合	アンケート機能を実施する環境の提供
4	(再委託先) (株)ユーディット	UD プラットフォームの企画・コーディネートを行うと共に、ユニバーサルデザインの専門家の観点で、どんなユーザーにも意味のあるシステムになるかどうかのチェック・助言を行う。
5	(再委託先) (株)ジェピック	e-ラーニングシステムの構築を行う。
6	(再委託先) 富士ソフト(株)	アンケートシステム、情報発信サイト設計・構築を行う。
7	嬉野バリアフリーツアーセンタ	UD プラットフォームの運営を行う。

事業実施進行表

実施内容	H22 8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H23 1 月	2 月	3 月
協議会等設立・準備会合								
システム構成の検討・決定								
システム構築に係る競争入札								
協議会等開催				△	△	△	△	△ △
(UDプラットフォーム) アンケートシステム設計								
(UDプラットフォーム) アンケートシステム構築								
(UDプラットフォーム) 情報発信サイト設計								
(UDプラットフォーム) 情報発信サイト構築								
(UDプラットフォーム) e-ラーニング 設計								
(UDプラットフォーム) e-ラーニング 構築								
システム稼働								
報告書作成								

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

- [1] UD アンケートサイト(iPad、携帯、スマートフォン、PC 共通)

<http://ud-uresino.org/enquete/>

- [2] アンケートデータ集計・管理システム トップページ

https://ud-uresino.org/ud_manager

- [3] 佐賀嬉野バリアフリーツアーセンターHP

<http://ud-uresino.org/udweb/> (PC サイト)

<http://ud-uresino.org/udweb/m> (携帯サイト)